



住吉市民病院廃止に伴う病院再編計画を審議した府医療審議会の部会＝7日、大阪市中心区内

住吉市民病院廃止

# 「うそ」「方針は間違い」「失政」

府医療審議会  
病院新增設部会

## 大阪市への批判が噴出

大阪府立住吉市民病院(同市住之江区)の閉院に伴う病院再編計画を審議した府医療審議会病院新增設部会が7日、大阪市中心区内で開かれ、委員から行政への批判が湧き出しました。

計画では跡地への民間病院誘致に失敗したために、入院ベッド100床を失います。新病院を建設する6年後までのつなぎの住之江診療所(仮称)を設置しますが、入院設備はありません。

「100床つぶしたのが当然失政。(失敗することが)分かっていることをここまで進め、公的

間でそんなことできない」「一番気になるのは、つなぎ部分の医療だ」「住之江診療所はとってつけたような話で、内容は反対できない。でもこれを本当に意味のあるものにするためには、産科と小児科1診でやるのは、本当に今の住民の声を聞いているのか」「外来だけでは不十分」などの意見が出ました。

計画では跡地への民間医療であるにもかかわらず民間病院にさせる。反対されたのに強引に進めた大阪市は何を考えているのか。(手を挙げた)民間病院も顔が立たない、「今までの市の方針は何回も間違えている。市立弘済院付属病院を持ってきて、公的機能を持った病院に作り変えられるなどうそだ。6年

か(診療所に30床の入院設備などを求めている)南部医療審議会の決議を十分に尊重してほしい。これが地元の医療者及び地域住民の声だと思う」などの意見が積みま

26日に医療審議会の本審査が行われます。

大阪府は診療所について、診療のコマ数をできるだけ増やす、市民病院のスタッフを採用するなどの交渉をしているとい

ては、他の病院と連携を強化するとしました。

この日の部会では、承認の方向でまとめられましたが、「資料が全部市側の意見で反対しにくい。市民の声はどうなの